

お口の中にも **がん** が、できます



舌がん



悪性リンパ腫



歯肉がん

お口の中にできる **がん** を **口腔がん** と呼びます。

進行した口腔がんでは、手術により舌やあごの骨を切除する必要がありそのため顔が変形したり食事や会話が困難になり、日常生活に大きな支障をきたすことがあります。

だからこそ、**早期発見、早期治療** が重要です。

公益社団法人 東京都大田区蒲田歯科医師会

写真協力 東邦大学医療センター大森病院 口腔外科 関谷秀樹 部長

日本の口腔がんの特徴

口腔がんの患者数

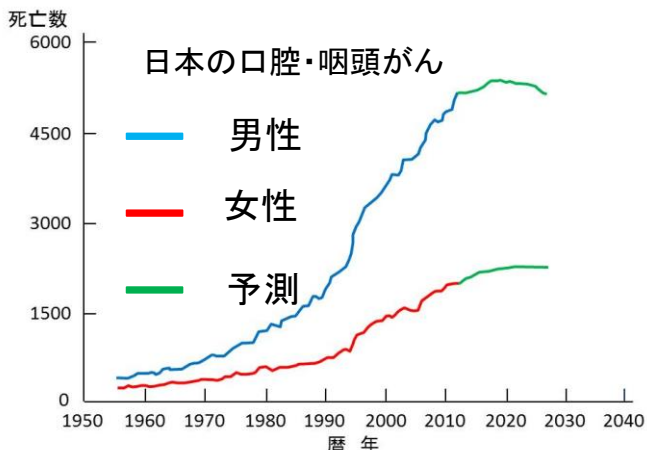
1975年には2,100人であったが、2005年には6,900人、現在は、年間に7,000人以上と増加傾向にある。

これは、全癌の1~2%ですが、頭頸部の約40%であります。

性別、年齢別発生頻度

50~70歳代の中高年に最も多い。

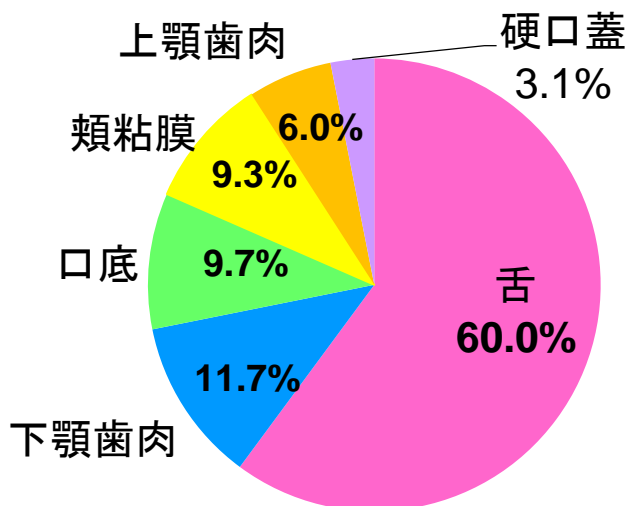
近年高齢化社会の進行とともに発生頻度も増加している。
男女比は3:2と男性に多い。



東京都健康安全研究センター

部位別発生頻度

舌: 60.0%,
頬粘膜: 9.3%,
口底: 9.7%,
上顎歯肉: 6.0%,
下顎歯肉: 11.7%,
硬口蓋: 3.1%



科学的根拠に基づく 口腔癌診療ガイドライン 2009

公益社団法人 東京都大田区蒲田歯科医師会

写真協力 東邦大学医療センター大森病院 口腔外科 関谷秀樹 部長

典型的な口腔がん



舌がん



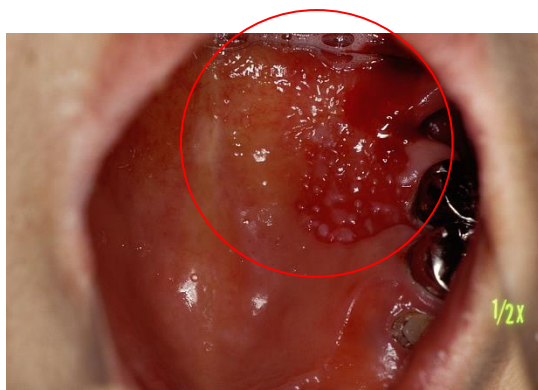
舌がん



下顎歯肉がん
(義歯擦過による)



下顎歯肉がん
(義歯擦過による)



硬口蓋がん



悪性黒色腫

口腔がんの危険因子

がんは、ある時細胞の遺伝子に傷がついてその異常を持った細胞が増え続け、さらに異常な状態で増え続けることで悪性度の高い細胞が出来て周囲に増殖していく病気です。

口腔**がん**になりやすくなる危険因子

喫煙

喫煙は口腔がんの最大の危険因子です。

非喫煙者の約**7倍**



飲酒

飲酒習慣のない人の約**6倍**

アルコール濃度も関係あり



口腔内環境

虫歯で歯が欠けたり、義歯や不良補綴物などがこすれて傷が出来たり、を繰り返す不衛生な口腔内



その他

加齢、栄養状態、ウイルス感染、食事などの科学的刺激



前がん病変 前がん状態

前がん病変とは、発がんする前に起こる初期の異常な状態で現時点では癌ではないが**将来発がんの可能性**のある病変をいいます。(白板症、紅板症など)



白板症



白板症～初期癌



紅板症～初期癌

白板症の癌化率は、5～10%と推定されてます。

紅板症は、50%が悪性化もしくはすでに癌になっていると言われていいます。

前がん状態とは、一般的な病気であるが**発がんする危険性の増大**している状態をいいます。(扁平苔癬、鉄欠乏性貧血など)

前癌状態の癌化率は、前癌病変の1/10～1/100と低い



扁平苔癬

公益社団法人 東京都大田区蒲田歯科医師会

写真協力 東邦大学医療センター大森病院 口腔外科 関谷秀樹 部長

口腔がんの治療

口腔がんの治療法には、手術でがんを取り除く**外科療法**、放射線を利用してがん細胞を死滅させる**放射線療法**、抗がん剤を用いてがん細胞を殺傷したり分裂を抑制する**化学療法**、などがあります。

また痛みや他の苦痛に対する症状緩和を目的とした**緩和治療**が行われたり、がん治療により失った組織、機能の回復のために行う**再建手術**が必要になる場合も有ります。



舌癌 密封小線源治療

初期がんでは手術単独で治療でき手術後に後遺症が出ることはほとんどありません。

進行したがんになると手術に放射線療法や抗癌剤を組み合わせた治療になります。

さらに進行がんでは、手術で切除する範囲が広くなり口の機能である 飲む、食べる、話す、といったことに影響が出てしまいます。それを補うために、患者さんの体の別の部分(腕の皮膚、背中の皮膚やお腹の皮膚)を使って、口腔内や、口の形や顔、を元に近くなるように戻すための、再建手術が必要になります。

何よりも早期発見、早期治療が最も重要です。

公益社団法人 東京都大田区蒲田歯科医師会

写真協力 東邦大学医療センター大森病院 口腔外科 関谷秀樹 部長

予防と早期発見のために

口は、物を食べたり飲んだり声をだしたりするだけでなく、顔の表情を作ったりと、人が豊かな生活を営むために重要な働きをする器官です。

口腔がんは全体のがんの中での発生率は低いですが、進行してから見つかる事が多いです。進行がんの生命予後は決してよくはありませんし、また治療後も顔面の欠損や、口腔機能の障害により社会復帰に影響の出るがんです。

口腔がんの予防のために

1. たばこ、お酒を控える
2. 歯磨きやうがいなどを行い、口腔内を清潔に保つ
3. 合わない入れ歯、破れたかぶせ物、治療していない虫歯があれば放置せず、きちんと治療する
4. 香辛料を取りすぎず、バランスの良い食生活を心がける

口腔がん早期発見のために

- ・口腔がんは、他の臓器がんと違い直接見たり触ったりできるがんです。また口腔がんになる前の前がん病変、前がん状態を経て口腔がん発症となる場合が多いのでがんになる前に対処することもできます。
- ・口腔内にできたただれ、白や赤の斑点などに注意し定期的に歯科医院に通いましょう



擦過細胞診

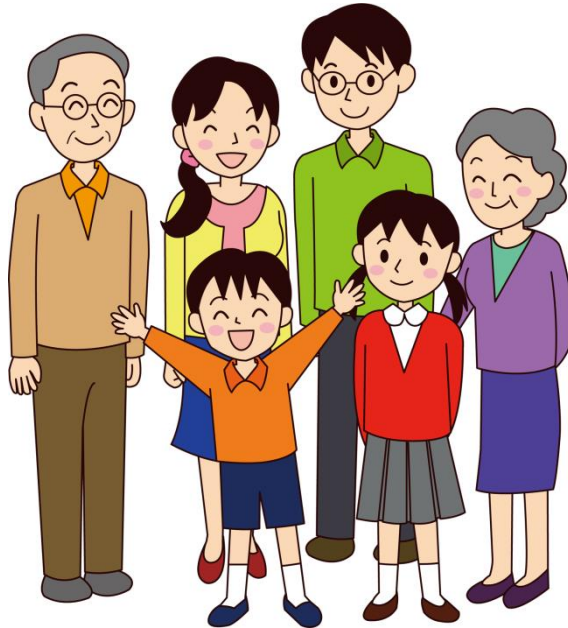
(患部の細胞をこすって取り検査する)

心配であれば是非、かかりつけの歯科医院に相談しましょう

公益社団法人 東京都大田区蒲田歯科医師会

写真協力 東邦大学医療センター大森病院 口腔外科 関谷秀樹 部長

お口の健康は、楽しい会話やおいし食事とるためだけでなく、体の健康を維持するためにも、非常に重要です。



皆様ひとりひとりが、自分のお口の健康に関心を持ち、豊かな生活を営んでいただきたい。

私たちは、お口の健康づくりのサポート致します。

公益社団法人

東京都大田区蒲田歯科医師会

〒144-0054 東京都大田区新蒲田1-4-14

TEL 03-3735-1004

FAX 03-3737-0378

HP :www.kamashi.jp